

經濟水道委員會

說明資料

平成29年12月6日

觀光文化交流局

目 次

	頁
1 名古屋城天守閣整備事業の考え方	1
2 名古屋城天守閣整備事業工程案	2
3 第24回特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議における市長コメント	4
4 石垣調査に関する文化庁への報告	5
5 文化小劇場における現指定期間中の主な改善	6
6 国際展示場指定管理者候補者選定にかかる評価内容の比較	7
7 国際展示場・国際会議場における指定管理者の収支	8
8 国際会議場の管理区域境界図	10
9 国際会議場指定管理者業務仕様書における主な管理運営業務	11
10 国際展示場・国際会議場における指定管理者制度上の課題	11

1 名古屋城天守閣整備事業の考え方

区 分		内 容
天守閣	整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「昭和実測図」や「金城温古録」等の豊富な根拠資料に基づき、史実に忠実な木造復元を行い、特別史跡名古屋城跡の本質的価値の理解を促進する ・名古屋のシンボル、日本の宝、世界に誇れる宝物とする
	活用の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・外観だけでなく、内部空間も含めて往時の名古屋城天守の姿を再建することができれば、時代を超え、近世の名古屋城天守を実体験することが可能となり、天守閣が本来持つ役割の理解を促進する ・史実に忠実に木造復元を行うことで、現天守閣にない、防御機能を備えた近世期の天守の特徴を観覧してもらう
天守台保全の方針		<ul style="list-style-type: none"> ・天守台を適切に保全し後世に伝えるため、調査により石垣の現状を把握し、調査結果に基づき対策を実施する ・現天守閣の解体工事及び木造復元にかかる工事においては、石垣に悪影響を与えない工法、対策を実施する

3 第24回特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議における市長コメント

名古屋城の天守閣木造復元に関して、参議院文教科学委員会において現状変更許可にあたっては「現在の石垣の劣化状況等に関する現況調査を実施すること」「現在の天守の解体、除却工事が文化財である石垣に影響を与えない工法であり、その保存が確実に図られること」「木造天守の忠実な復元がなされるような具体的な計画内容であること」「木造復元に係る工事が文化財である石垣に影響を与えない工法であり、その保存が確実に図られること」などが必要であるとの発言がありました。

私といたしましては、特別史跡である石垣をしっかりと保全していくことも重要であると認識しておりますので、石垣部会の構成員皆様方のご意見を伺いながら、文化庁が指摘しているような石垣の保全について対応していきたいと考えております。どうぞよろしくご審議をいただきますよう、お願いいたします。

4 石垣調査に関する文化庁への報告

区 分	内 容
平成29年 5月16日	・第21回石垣部会の概要について
6月15日	・第22回石垣部会資料について
7月 4日	・第22回石垣部会の概要について
8月 3日	・第23回石垣部会資料について
8月29日	・発掘調査等の現状変更について
9月25日	・第24回石垣部会の概要について ・天守台発掘調査の体制について
10月10日	・天守台発掘調査の体制について
10月16日	・第24回全体整備検討会議の概要について
10月31日	・石垣詳細調査について
11月15日	・石垣部会の状況について

5 文化小劇場における現指定期間中の主な改善

区 分	主な改善内容
中村文化小劇場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区の歴史を題材とした講演会、ワークショップの実施 ・ 「未来の鑑賞者育成事業」の開催
南文化小劇場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名古屋地区初のシニア吹奏楽団の発足 ・ 「未来の鑑賞者育成事業」の開催
天白文化小劇場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て団体と連携したベビーカーコンサートの実施 ・ 「未来の鑑賞者育成事業」の開催
守山文化小劇場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区役所・金城学院大学との三者協定に基づいた地域交流促進事業の実施 ・ 「未来の鑑賞者育成事業」の開催
千種文化小劇場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 演者をサポートする「演劇アドバイザー」の創設 ・ 「未来の鑑賞者育成事業」の開催
中川文化小劇場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 名音大等と連携して「音楽の力」を活用した地域の魅力向上事業の実施 ・ 「未来の鑑賞者育成事業」の開催

6 国際展示場指定管理者候補者選定にかかる評価内容の比較

区 分	評価内容
(株) コングレ	<p>本展示場を取り巻く環境に大きな変化が見込まれる中、これまでのMICE誘致実績と豊富なアイデア、ネットワークを活かした、名古屋での国際的な催事等の開催促進と他都市との競争力を持った運営を行うことが期待できる。また他の施設での管理運営実績もあり、実現性が高いと評価できる提案となっている</p>
(公財) 名古屋産業振興公社	<p>施設管理運営において経験と実績があり、その蓄積に基づくきめ細かな利用促進策やサービス向上等の提案がなされている。一方で、更なるMICE誘致を進める上で、国際的なネットワークをはじめとした誘致能力について、やや不十分な面が見られる</p>

7 国際展示場・国際会議場における指定管理者の収支

(1) 国際展示場

ア 収支実績

(単位：千円)

区 分		平成26年度	平成27年度	平成28年度
収 入 項 目	指定管理料	264,568	264,579	264,865
	光熱水費等 弁償金収入	106,345	116,610	103,995
	その他収入	28,606	31,449	29,173
計		399,519	412,638	398,033
支 出 項 目	人 件 費	46,364	53,223	64,033
	光 熱 水 費	140,905	129,217	111,830
	管 理 費	145,914	143,143	147,656
	その他支出	18,063	17,668	14,723
計		351,246	343,251	338,242

イ 候補者の収支計画

(単位：千円)

区 分		平成30年度	平成31年度	平成32年度
収 入 項 目	指定管理料	268,320	260,320	259,360
	光熱水費等 弁償金収入	105,000	120,000	110,000
	その他収入	19,820	19,820	19,820
計		393,140	400,140	389,180
支 出 項 目	人 件 費	54,000	52,000	52,000
	光 熱 水 費	121,300	139,950	130,650
	管 理 費	181,481	176,188	176,396
	その他支出	36,359	32,002	30,134
計		393,140	400,140	389,180

注 次期指定期間は、平成30年度～平成32年度の3年間

(2) 国際会議場

ア 収支実績

(単位：千円)

区 分		平成26年度	平成27年度	平成28年度
収 入 項 目	利用料金収入	974,581	1,043,410	919,620
	光熱水費等 弁償金収入	12,927	11,895	11,065
	その他収入	37,197	53,297	31,232
	計	1,024,705	1,108,602	961,917
支 出 項 目	人 件 費	111,119	107,034	117,377
	光 熱 水 費	231,194	209,764	174,777
	管 理 費	483,805	472,916	462,203
	その他支出	116,716	153,328	108,954
計		942,834	943,042	863,311
市への納付金		14,138	40,995	50,109

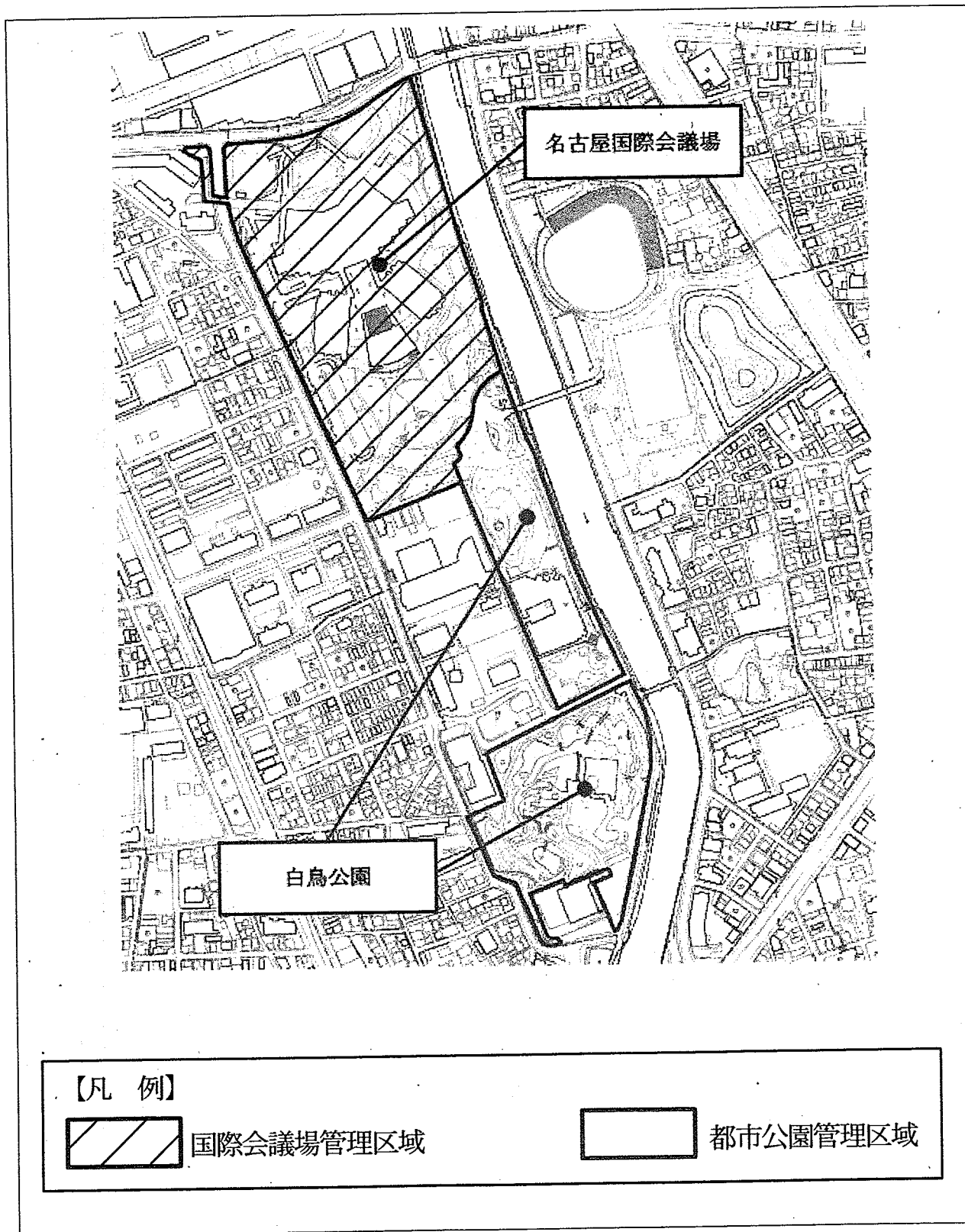
イ 候補者の収支計画

(単位：千円)

区 分		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
収 入 項 目	利用料金収入	940,000	1,054,000	920,000	950,000
	光熱水費等 弁償金収入	11,000	11,000	11,000	11,000
	その他収入	18,780	19,630	18,880	18,880
	計	969,780	1,084,630	949,880	979,880
支 出 項 目	人 件 費	114,000	115,040	116,090	117,150
	光 熱 水 費	200,000	211,000	196,000	199,000
	管 理 費	468,018	474,174	472,469	475,153
	その他支出	119,762	131,416	113,321	101,577
計		901,780	931,630	897,880	892,880
市への納付金		68,000	153,000	52,000	87,000

注 次期指定期間は、平成30年度～平成33年度の4年間

8 国際会議場の管理区域境界図



9 国際会議場指定管理者業務仕様書における主な管理運営業務

- ・ 運転設備管理業務
- ・ 警備、駐車場管理、受付業務
- ・ ホール業務
- ・ 会議室業務
- ・ 清掃業務
日常清掃、定期清掃、屋外清掃 毎日、ガラス清掃 年1回
- ・ 緑地管理業務
除草 年4回（芝刈り含む）
落葉清掃 年3回
アコウの木防寒養生（11～3月の間）

10 国際展示場・国際会議場における指定管理者制度上の課題

- ・ 長期的な準備が必要となる大規模展示会、国際会議等の誘致及び誘致にかかる人材育成
- ・ 老朽化の進む施設、設備の安定的な維持管理